

初めての土地で初めての仕事、不安も多くありましたが、多くの人に支えられ楽しく農作業をしています。



# 農業に懸ける情熱



## 1 農業に携わることになったきっかけ

きっかけは、夫が実家の農家を継ぐことになったからです。夫とは千葉県で仕事をしているときに出会い、その後結婚しました。結婚を機に北海道で農業に携わることになりましたが、今まで足を踏み入れたことのない北海道、無縁だった農業、結婚するまでは自分が農家に嫁ぐとは全く思ってもいませんでした。

当初は慣れない力仕事に大変苦労し、特に田植え時期はへとへとになりながら家事と農業の両立に悩みました。大変な時期もありましたが、何をするにも夫の協力があつたので、前向きに農作業をすることができました。



## 2 野菜を作る楽しさが生きがい



毎朝採れたての新鮮野菜を出荷しているもぎたて市グループ「ほろむいファーマーズ」に参加して、今年で16年目を迎えます。ピーマンやトマト、キュウリ、ゴーヤ、オクラなど多くの作物を栽培し、Aコープほろむい店に出荷しています。私1人でハウスの管理や収穫作業をしており、苦労することもあります。出荷した品物が売り切れているのを見ると、「生懸命育てて良かったな」と嬉しい気持ちになります。

もつと野菜を上手に作れるように、夫やほろむいファーマーズの仲間とアドバイスをもらいながら野菜作りを楽しんでいます。日々大きくなっていく野菜の成長を見ることが楽しみとなっています。

## 3 女性部活動で垣根を越えた仲間作り

女性部には16年間所属しています。加入のきっかけは、ほろむいファーマーズに参加する条件が女性部の加入だったからです。加入当初は子育てや家事に加え、慣れない農作業もあり、自分のペースをなかなか掴むことができず、女性部事業にはあまり参加できていませんでした。現在は子育てもひと段落し、女性部活動にも積極的に参加できるようになりました。

今年から女性部幌向支部の支部長を務め、他支部の方との交流や本部役員と道外研修に行ったりと楽しく過ごしています。



### 人物 memo

岩見沢市北村幌達布  
金田 恭子 さん

夫の佳記さんと約20畝の農地に水稲や小麦、大豆を栽培。恭子さんの地元の千葉県で佳記さんと出会い、結婚後、北村幌達布で就農。現在は、もぎたて市に出荷する野菜の栽培に力を入れているほか、女性部幌向支部支部長を務めています。